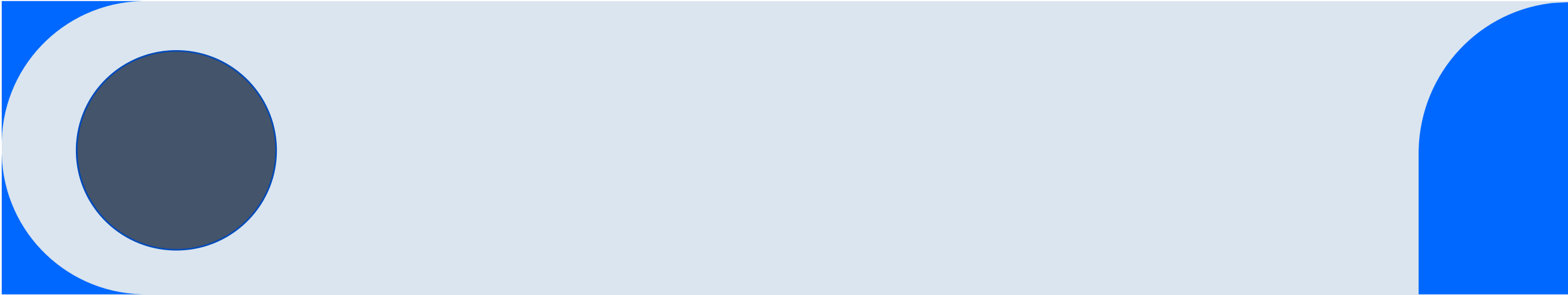


一人一木

一人一花 ver2~ヒトリイチモク



福岡市が進める一人一花

一人一花運動とは・・・

市民・企業・行政一人ひとりが、公園や歩道、会社、自宅など、福岡市のありとあらゆる場所での花づくりを通じて、人のつながりや心を豊かにし、まちの魅力や価値を高める、花によるまちづくりを目指す取り組みです。

一人一花を新たなステージへ

「一人一花」は、花壇を作ることや花を見ることで心を豊かにするものですが、さらにSDGsの目標の一つである「陸の豊かさを守る」視点を追加することを提案します。陸の豊かさを守るためには、元々ある日本固有の植物を増やす活動が不可欠だと思います。生物学的には、外来種の一年草が多い花壇では減り続ける緑地を補うことにはならないからです。

年々減る公園の樹木の影響

福岡市の西公園、大濠・舞鶴公園は渡り鳥の飛来地として重要な役割を果たしています。

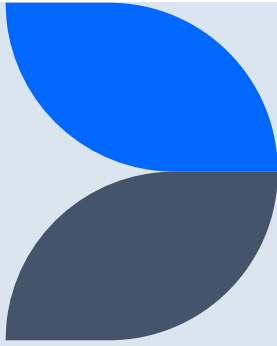
しかし、福岡市では近年、大濠公園、舞鶴公園など開発のために多くの巨木が伐られることとなりました。特に舞鶴公園で樹木がなくなったエリアは、多くの野鳥が姿を消したように感じます。

また、公園の樹木だけでなく、庭付きの古い戸建ても減り、庭の少ないマンションが増え続け、野鳥を見る機会が一層減りました。

このままではSDGsの目標である陸の豊かさを守ることはできません。



「一人一花」を「一人一木」へ



そこで、福岡市が進める一人一花をバージョンアップさせ、一人一木にすることを提案します。一人一木では、人口に対し、木を植え増やすことやビオトープを作ること为目标とします。

木やビオトープが育てば、そこに虫や野鳥など生き物が戻ってきます。

この運動により、一人一花の考えも継続させながら、陸の豊かさを守るというSDGsの目標を達成することが可能になります。

福岡市は他に比べて街から海や山が近く、本来自然豊かな都市です。街中にも緑を増やし、生き物と共存できる都市になれば、より一層魅力のある新しい都市にすることができると思います。



一人一木で 花と緑と生き物がいっぱいのまちへ

